



Yonago East Weekly

「ロータリーに誇りを！ 参加しよう そして、行ってみよう」

- 創立／1968年4月24日 ●事務所／米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日／水曜日12:30～13:30 ●例会場／ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長／木美俊彦 ●幹事／長棟信泰 ●会報／楠 明彦

会員数 93名
(正会員 92名 名誉会員 1名)

今週のお祝い

結婚記念祝: 4日 種田進君 6日 上森英史君
9日 佐々木宏君 13日 荒川雄司君 15日 永見吉平君
16日 多林美智子君 18日 内田幸男君 19日 今出 上君
23日 杉原弘一郎君 28日 安達充君
30日 古杉 淳君 31日 林 俊一君

会長挨拶

先週の日曜日には、雨が心配でしたが無事に大山一斉清掃が行われ、米子東RCから20名の参加がありました。

職業月間ですので、職業の話をいたします。KYという言葉は、一般には空気が読めない等で使われますが、建設業では「KY」＝「危険予知」と用います。仕事の内容や手順を予め予測し、その手順にどのような危険が潜んでいるかを一つ一つ洗い出します。それに対しての対策を確認して、事故を未然に防いでいきます。

事故はどうして起こるのか？これには4つ定理が挙げられます。

- 1・事故は今か今かと襲いかかる準備をしている。
- 2・複数の要因が重なる。(火元があり、引火しやすい燃える物があり、人が居ない等の複数の要因)
- 3・事故は連鎖する(不具合が更なる不具合を呼ぶ)
- 4・無知が原因となる(仕事に対しての知識不足が原因)

事故の対策として、ヒヤリ・ハットの撲滅があります。研究されたヒヤリ・ハットの法則 があり1:29:300の比率と云われます。一つの大きな事故の影に29のヒヤリがあり、300の小さなミスがあるとされます。

皆さんも小さな事も見逃さない様にしてそのミスに対する対策を行い、事故を防ぎましょう。

幹事報告

1. 鳥大医学科4年地域医療体験
木下亮 君、斎藤雄馬君来訪



2. 本日、職場訪問 協同組合レングス (南部町)
3. 本日、19:00より新入会員歓迎会 (食留芽)
4. 10/30 休会(定款第6条)
5. 11/16 鳥取県インターアクト指導者講習会のご案内 (倉吉 伯耆しあわせの郷)
6. 例会変更のお知らせ

次回プログラム

- 11/6 「ロータリーの友」紹介
戸田忍 雑誌委員会リーダー
「私の職業」 澤 耕司 会員
11/13 「英国のこと」
クィーンズイングリッシュ英会話スクール
代表 ディビット・マーティン 氏



Engage Rotary, Change Lives
ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を



10/23 新入会員歓迎会（食留芽）

新入会員4名含む33名の参加がありました。

<プログラム>

< 協同組合レングス 職場訪問記 >

23日例会終了後、安達職業奉仕リーダーの手配で吉岡会員が副理事長を務める南部町にある協同組合レングスさんを職場訪問しました。当日生憎の雨の中、木美会長を始め18名という大人数が参加しました。枝野工場長による概要説明の後、工場内を見学しました。流石に木材工場だけあって東京ドームがすっぽり入るくらい広い敷地でした。ある程度の厚さを持った木材は意外と火に強いとのこと。また数年前に「グッドデザイン賞」を受賞されて県産杉の間伐材を材料とした「Jパネル」を殆んどの都道府県に出荷しているとのこと。“環境にやさしい”隠れた実力派工場を見学出来て有意義な職場訪問でした。



参加者

安達君、赤木君、井上(博)君、井上(雄)君、池淵君、岩崎(浩)君、木美会長、木下(博)君、小土井君、楠君、宮永君、永見君、長棟幹事、南葉君、澤君、杉原君、植田(昭)君、横田君